

ドイツ歌曲のホホホ { Vol.2 }

～入門講座～

うたシリーズ

ドイツ歌曲の魅力を深く探求するシリーズ第2弾!

Vol.2の入門講座(全3回)のテーマは「連作歌曲集」

Vol.1では、モーツァルトからシュトラウスに至る系譜を辿り、歌曲ならではの音楽用語や楽曲構成などの基礎知識を学びました。

今回は、物語のように詩と音楽が一体化した連関性を持ち、多くの作曲家たちのインスピレーションを駆り立てた

「連作歌曲集」にクローズアップします。また、第3回は、アプローチを変えて初の対談形式に。

トークゲストには、幅広いレパートリーをもつバリトン歌手の加来徹さんをお招きして、

演奏表現の工夫などその極意を伺いながら、音楽学者×演奏家の異なる視点からこのテーマを深く掘り下げます。



講師 / 広瀬 大介
Daisuke Hirose

音楽学者、音楽評論家。青山学院大学教授。日本リヒャルト・シュトラウス協会常務理事・事務局長。

著書に『オペラ対訳×分析ハンドブック シュトラウス／楽劇 サロメ』『同 シュトラウス／楽劇 エレクトラ』『同 シュトラウス／楽劇 ばらの騎士』『名局と名曲のあいだ』『リヒャルト・シュトラウス「自画像」としてのオペラ』(以上アルテスパブリッシング)、『帝国のオペラ』(河出書房新社)、『もっときわめる! 1曲1冊シリーズ③ ワグナー:《トリスタンとイゾルデ》』『世界史×音楽史 知っておきたい! 近代ヨーロッパ史とクラシック音楽』(音楽之友社)など。各種音楽媒体での評論活動の他、NHKラジオへへの出演、演奏会曲目解説・CDライナーノーツの執筆、オペラ公演・映像の字幕・対訳などを多数手がける。



トーク
ゲスト
(2/2のみ)

加来 徹 (バリトン歌手)
Toru Kaku

東京藝術大学大学院首席修了。同大学院アカンサス賞受賞。バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーを持つ。BCJ《マイ受難曲》のCDに参加する他、2021年1月《エリアス》タイトルロールで絶賛された。26年3～4月オランダバッハ協会《マイ受難曲》のソリストとして全14公演に出演。オペラシティ(B→C)では東京、福岡両公演満席の中、10か国語による歌曲プログラムを熱演。オペラでは日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロール、《コジ・ファン・トゥッテ》グリエルモ、《ランメルモールのルチア》エンリーコ、二期会《金閣寺》鶴川、《ルル》シェーン博士、《こうもり》ファルケ等多数出演。25年4月に5枚目のアルバム『TORU KAKU meets SCHUMANN』をリリース。洗足学園音楽大学非常勤講師。

「連作歌曲集」の系譜

第1回 2026.10/13(火) 13:30～15:00 (13:00開場)
シューベルト《冬の旅》をめぐって

第2回 2026.12/15(火) 13:30～15:00 (13:00開場)
シューマン《女の愛と生涯》、マーラー《大地の歌》をめぐって

第3回 2027.2/2(火) 13:30～15:00 (13:00開場)
加来徹さんとたどるシューマンとマーラー

【会場】ほねごり杜のホールはしもと
(杜のホールはしもと)・多目的室

【料金】各回 ◎全席自由1,500円 ◎車椅子席1,500円

※車椅子席は、チケットMoveまでお問合せ下さい。なお、車椅子席の対象は、車椅子でご来場のお客様となります(介助者は1名まで)。
※13歳以上のお子様よりご入場いただけます。

【チケットのお求め・お問合せ】

チケットMove (10:00～19:00) 042-742-9999

チケットムーブ.net <https://move-ticket.pia.jp/>

イープラス <https://eplus.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード [第1回: 328-924] [第2回: 328-925] [第3回: 328-926]

監修: 広瀬大介 主催: 公益財団法人相模原市民文化財団

6/20(土)
発売

ほねごり杜のホールはしもと (杜のホールはしもと) 公益財団法人相模原市民文化財団

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本3-28-1 ミウヰ橋本8F

(JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口を出て右側「ミウヰ橋本」8F)

Tel.042-775-3811 <https://hall-net.or.jp/02hashimoto/> X @Sagami_MORI



※ホール専用の駐車場はございません。車でご来場の際は、隣接の市営駐車場をご利用下さい。(市営駐車場 駐車料金30分/150円、駐車後24時間 最大料金1,500円)

